

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第31回

2015年
5月23日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。参加無料

☆終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



異郷へ...

曲芸のタブロー — インドサーカス写真紀行

報告者: 芦沢 武仁



●芦沢 武仁(あしざわ たけひと)

東京生まれ。写真家。旅行雑誌、PR誌などの撮影を永年続け、2007年頃より作品作りのための撮影、制作を始める。主な写真展に、09年「ルーマニアの木造教会」(エブソンギャラリー)、12年「マラムレッシュ 家の記憶」(銀座ニコサロン)、14年「曲芸のタブロー」(新宿ニコサロン)などがある。現在、写真展「ロマの熊遣いと踊る熊」を企画中。

カルカッタの路上で暮らす芸人、綱渡りやアクロバットの姿に魅せられて写真を撮りはじめてから30年以上経っている。インド北部では「足芸一座」に住み込み、アグラの周辺の村や町を周り、縁日の小屋掛け芝居や手品小屋などを撮影した。また旅の途中で出会った大サーカス、ファミリーサーカスなども記録している。

今回はそうして撮った写真をご覧になっていただきながら、紀行風に自分のインドのサーカスを求めた旅の話をしたいと思います。



タンザニア — アフリカとアラブ、二つの世界の接点

報告者: 岡田 眞樹

タンザニアはキリマンジャロがそびえ野生生物の宝庫であるタンガニーカと、象牙と奴隷貿易の支配に乗り出したアラブ人スルタンがつくったザンジバルとが合併したしてできた国です。100を超える黒人の部族が住むタンガニーカは、植民地化を進めるドイツの軍隊に対し大酋長ムクワワなどが西部劇のインディアンさながらの戦いを挑みました。政争に明け暮れ没落の道を辿るザンジバルからは、一人の王妃がドイツ人に嫁いで行き、時代の波に翻弄されました。他方、日本からは、日露戦争の頃から「からゆきさん」が出稼ぎに行っており、タンザニア建国直後には、チェ・ゲヴァラがタンザニアを通してコンゴに行き、ゲリラ戦を指揮したこともあります。

そういった様々な人たちの足跡を織り交ぜながら、タンザニアの自然や文化、社会、最近の発展ぶりなどについてお話したいと思います。

●岡田 眞樹(おかだ まさき)

千葉市出身。1973年京都大学法学部卒、外務省入省。本省では儀典長、広報文化交流部長など、在外ではタンザニア大使、デンマーク大使を務めた。2015年3月退官。趣味は、ヴァイオリン演奏、ウェブサイト作成など多岐にわたる。



ゴゴ族の女の子の踊り



キリマンジャロ山



ドイツ人と結婚したサルメ王女



からゆきさんが働いていた Japan Bar と呼ばれる場所